

## 7月は、全国安全就業強化月間

7月は、全国シルバー人材センターの安全就業強化月間と定められており、安全就業の啓発活動が展開されています。

全国でたくさんの会員さんが様々な就業でご活躍される中、就業中や就業途上中における事故が後を絶たず、過去10年間で250名もの尊い命が失われています。

特に、就業中の事故においては、約6割が植木の剪定・伐採等における「墜落・転落」による事故が多く発生しており、墜落防止用具等を着用していれば、大きな事故に繋がらなかったと分析されています。また、お亡くなりになられた方のほとんどが、安全ヘルメットなどの保護具が未着用であったとされています。

事故は他人事ではなく、自己の意識として防止しなければならず、安全就業の徹底は、「自分の身は自分で守る」意識を常に持つことが大切なことでもあります。

しかし、人間には見落とし、錯覚、記憶違い、物忘れなどがつきものです。これらをカバーするために「相互確認」という手法が使用されることとなります。

これは、簡単に言えば「お互いに注意しあう」ということです。自分では不安全な行動に気がつかなくても、まわりの人が見ればすぐそれとわかる場合があります。「それは間違っている、直した方がいいよ」といった具合に注意しあうのです。

この場合、注意されたからといって怒ったり、注意することをためらっては何の効果も得られません。また事故が起きてからでは後戻りできないのです。重大な事故が発生してから「あの時注意しておけばこんなことにならなかった」など…

相互確認に求められるのは、不安全な行動を見つけたらすかさず注意するという勇氣（不安全な行動を発見した方）と、注意を受けたら直ちにそれを受け入れてその不安全な行動を直すという謙虚さ（注意を受けた方）が必要であります。

会員一人ひとりが危機意識をもち、お互いに声かけあって、安全就業を心掛けてください。

安全適正就業対策委員会



# 蜂

# 注意報発令



**蜂に刺されるとショック症状により死に至る場合があります。**

一度蜂に刺されると体内に抗体ができ、2回目以降に蜂に刺された場合、ショック症状を起こし、危険な状態に陥る場合があります。これは、**アナフィラキシーショック**といい、一刻も早く医師の手当を受けなければなりません。これからは、蜂が活発になる季節となりますので、事前にハチの巣の有無を確認してから作業を実施するようにしてください。

# 熱中症

## 敬告

# ご注意

水分  
塩分  
補給  
を忘れずに!



軽症

中程度

重症

目まい  
立ち眩み



汗が  
止まらない

こむら  
がえり

手足の  
しびれ

対処

- 水分・塩分の補給
- 涼しい場所へ移動
- 安静

頭痛



判断力の  
低下

吐き気

体がだるい

対処

- 涼しい場所へ移動
- 体を冷やす
- 自力で水分を補給できなければ医療機関へ

意識が  
ない



体が  
熱い

返事が  
おかしい

けいれん

対処

- 119**
- 救急車を要請
  - 涼しい場所へ移動
  - 安静



## 新型コロナ「第9波」



新型コロナウイルスの感染が全国でじわりと拡大しています。感染予防を徹底しましょう！

### スマートフォン保有率調査にご協力ください

シルバー人材センター事業のあらゆる面におきまして、ITの活用が有効になると考えられます。つきましては、今後の検討にあたり、必要になると思われる事項について、アンケート調査を実施いたしますので、ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。